

『向島の豊かな自然と生きものたち』

第31回 みんなと昆虫採集 (2016年7月27日)

夏休みに入った7月下旬、公民館活動と子ども図書館の企画で、虫好き家族の皆さんと向島洋らんセンター付近で昆虫採集をし、後日市民センター「ココロ」の2階大会議室で標本づくりをしました。

昆虫採集では、採集した虫を飼育したり、標本にしたり、つかまえるだけの子ども達もいました！

標本作りでは、家族で旅行やキャンプ、山登りをした時に見つけた虫も集まりました。1匹1匹をていねいに標本に作って大事にすると、時がたち1匹の虫の標本を見てふと昔をなつかしく振り返ることもあり、旅の思い出や友達との楽しい思い出づくりにもなつて、本当に楽しいものです。

今回は、虫大好き少年の西部純生くんに、昆虫採集の思い出を作文にしてもらいました。少しでも楽しさが伝わればと思います。

『ぼくがいちばん、思いでにのこったむしは、コオイムシです。

りゆうは、夏に、江頭さんと、虫とりにいったとき、いけで、つかまえ方を教えてもらって、はじめて、コオイムシをつかまえたからです。

ほかにいけで、つかまえて思いでにのこった虫は、ガムシです。

りゆうは、コオイムシと同じです。

次に、思いでにのこったのは、いしづち山です。

りゆうは、めずらしいむしもいたし、青くてひかっているソウムシもつかまえたからです。お父さんが、ぶよに、頭や足をかまれて、はれていておもしろかったからです。

その次に、思いでにのこった虫は、ツマグロヒョウモンです。

りゆうは、お兄ちゃんがようらんセンターでつかまえて、いっしょうけんめい、お母さんが、せわをやってくれて生まれたからです。

さんねんだったことは、冬型で、ちっちゃかったからです。さなぎにトゲがあつて、キラキラしていたから、びっくりしました。』

向島中央小学校 2年 西部純生

※蝶と蛾の標本箱の、左から2列目、上から4番目の「イボタガ」が羽化直後の状態です。私には「フクロウ」に見えるのですが…みなさんどうでしょうか!?

花と鳥と昆虫と海辺に遊ぶ ~

つるかめクラブ